

平成 21 年 12 月吉日

ジュニア選手様
テニスクラブ代表者様
中学校・高等学校テニス部顧問様
ジュニア選手保護者様

和歌山県テニス協会 審判委員会

「審判台に乗ってみよう！」運動について

平素は、和歌山県テニス協会の諸事業、とりわけジュニア選手に関する諸事業にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、平成 22 年度のスプリングステージより **試合時に選手に審判台に乗っていただくようになります**。まずは審判台上で見るゲームの楽しさを知ってもらい、他の選手の試合運びや戦略を見たり、しいてはテニスルールへの関心を高めてもらったりするのが目的です。審判台では S C U か一般の審判の主審が望ましいとしますが、それが無理な場合は乗っているだけでも可とします。ただし今後は現在よりも公正な試合運営を目指し、またセルフジャッジによる弊害（例：ジャッジミス、試合中のルール違反）をなくすために **選手による主審制度**へと段階的に移行する方針です。

県外のジュニア大会および上位大会ではセルフジャッジが主流ですが、ルールを学びマナーと戦術を向上する「マナー&ルール」UP 作戦を和歌山から発信する意気込みでこの制度導入に今後取り組むつもりです。

「審判台に乗ってみよう！」運動は、以下のとおりの運用とします。

- ① すべてのジュニア大会に導入します。
- ② S C U か一般の審判の主審が望ましいとします。それが無理な場合は試合をする選手に了解を得た上で、審判台に乗っているだけでも構いません。
- ③ 直前の試合の敗者は、同じコートで行われる次の試合の審判台に乗ってください。
- ④ 別紙のスコアカードを利用します。
- ⑤ 各大会日の最初の試合は、通常のセルフジャッジで試合を行います。

大会本部や審判台に乗る選手とのスコアカードのやりとりについては、事前に確認をしておいてください。

主審の仕方については、今後和歌山県テニス協会審判委員会でジュニア選手を対象とした簡単な講習会を予定しています。

以上